

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

アンギオ室改修



アンギオ室(血管撮影室)はX線透視下で血管を観察しながら検査・治療を行う部屋のことです。

心臓や脳、体幹部や手足など全身の血管に対して、カテーテルと呼ばれる非常に細い管を使うことで体を大きく

く切らずに低侵襲で精度の高い治療を提供することが出来ます。

当院ではこのたび、2台あるうちの1台14年使用したアンギオ装置を最新機種へと入れ替えいたしました。これにより、さらに高精細な画像による診断・治療の精度向上と、被ばく線量の低減が可能となりました。

また検査室の内装にもこだわり、従来よりも落ち着いた雰囲気空間へとリニューアルしました。緊張しやすい検査環境だからこそ、リラックスして検査を受けていただけるかと思えます。

今後も地域医療への貢献と患者さまの治療環境のさらなる向上を目指し日々の診療に取り組んで参ります。

放射線室 主任 比嘉 瞬

褥瘡予防ポジショニング学習会

寝たきりの患者様の褥瘡(床ずれ等)予防の取り組みとして、ポジショニング体験型学習会を開催し多くの職員に参加していただきました。

ポジショニングでは、体位変換(除圧を目的とし身体の向きを変える)だけではなく、「目的に適した姿勢を安全で快適に保持すること」を意識しなくてはなりません。そこで、職員には姿勢が及ぼす心身への影響を実際に体験、感じてもらいました。学習会後には「ギャッチアップ姿勢のキツさが分かった」「除圧が大切だと思った」といった気づきの声が聞かれました。

継続した不良姿勢は褥瘡発生のみならず、患者様の心身へ悪影響を及ぼし、介助者側の負担増加にも繋がります。患者様が安心して療養できる環境を提供するためにも、今後も学習会を継続していきたいと考えています。

リハビリ室 山城 現子



病院の **活動状況**
＜2025年8月度＞

- ・ 外来一日平均患者数：227人（前年同月比 -78人）
- ・ 入院一日平均患者数：262人（前年同月比 -1人）
- ・ 組合員利用分量(率)：58.8%（前年同月比 +3.9%）

まぶたのたるみ、気になりますか？

224

形成外科より



まぶたが重く開きにくい、視界の上が見えにくい、こんな症状はありませんか？これが「眼瞼下垂(がんけんかすい)」です。加齢による筋肉(眼瞼挙筋)の腱膜がゆるむことが最も多い原因で、ハードコンタクトレンズの長期使用や生まれつきの体質、まれに神経の病気でも起こります。症状は見た目だけでなく、額に力を入れてまぶたを持ち上げるための頭痛や肩こり、夕方の眼精疲労、眠そう

な表情に見えるなど、生活の質にも影響します。治療はずれた腱膜を適切な位置に戻す手術が基本です。局所麻酔の日帰りで行うことが多く、術後は視界が広がり、額の緊張が減ることで頭痛が軽くなる方もいます。機能改善を目的とする場合は健康保険の適用となります。

検査では、まぶたの開きや視野、ドライアイの有無を確認し、原因に合わせて術式を選びます。皮膚のたるみが強い場合は余剰皮膚も同時に整えることで、まつげのかぶりや額のしわの改善も期待できます。手術痕はまぶたのしわに沿うため目立ちにくく、抜糸は約1週間前後。術後は冷却と軟膏を続け、強い運動や長風呂は当面控えます。腫れや内出血は1〜2週間で落ち着き、仕事復帰は多くの方が数日〜1週間程度です。点眼やマッサージでは根本的な改善は難しく、片側だけが急に下がった、ものが二重に見えるなどの症状があれば早めの受診が安心です。見えにくさや表情の変化でお困りの方は、どうぞお気軽に形成外科までご相談ください。

形成外科 北村 卓也

★ 高校生看護体験を開催しました ★



看護体験は看護の仕事に興味がある高校生にとって、実際に現場を体験できる貴重な機会となります。毎年夏休みの時期に開催しており、今年は8月15日、22日の2日間開催し、合計42名の高校生が参加しました。(昨年より参加人数も増加)

各病棟で実際に行った看護

体験では、学生同士で血圧測定・聴診、自身の心電図モニターの装着、車いす乗車体験、感染対策でのPPE着用、手術室での手洗いなど様々な体験を行い目を輝かせていました。

体験の後には先輩看護師との交流を行い、看護師になるための道・看護業務について様々な質問がでていました。半日という短い時間でしたが優しい先輩看護師の笑顔あふれる対応をみて、将来医療の道へ進むための道しるべになったと思います。

いつか私たちの後輩が誕生することを楽しみに、来年もたくさんの高校生の受け入れをしていきたいと思います。

看護学生委員長 山城 優理子



<ご意見>

MRI検査を受けたが、着替えの際に靴も脱いだりするが、更衣用の踏み台がなく、直接床に足を置くことになる場合もあり不潔に感じるので簡単な踏み台等でも構わないので設置して欲しい。

私は組合員でもあり前にもこの話をした記憶があるが改善されていないので本日お話ししました。

<回答>

初めにこれまでご不便な思いをさせていたことをお詫びいたします。

以前は更衣室にすのこやマットを設置しておりましたが、更衣室内という密室の中で転倒の危険性が確認されたため、患者様の安全確保のため撤去するに至った経緯があります。

今回改めて院内医療安全室にも相談、検討の結果「足置きマットが必要な方はスタッフまでお声かけ下さい」とのポスターを更衣室に掲示、案内させていただきました。

どうぞお気軽にスタッフにお声かけのうえご利用下さい。

貴重なご意見ありがとうございました。



放射線室室長 神里 新

こんにちは赤ちゃん

当院で出生したBabyの写真です



横尾希一ちゃん



丸山海ちゃん

Instagramやってます
@okikyo.sanka



私の部署のいいところ

4階病棟北は、小児科から高齢の方まで幅広い患者さんが入院される病棟です。小さなお子さんの笑顔に、大人の患者さんもつられてほっと和むことがあり、病棟全体があたたかな雰囲気になっています。スタッフ一人ひとりが、患者さんが安心して治療に専念できるよう、チームワークを大切に日々取り組んでいます。なかでも、場を和ませながらも仕事はテキパキこなす頼れる職員がいて、病棟イベントでは得意の民謡を披露し、場を盛り上げてくれます。皆さまに少しでも安心と笑顔をお届けられるよう、スタッフ一同心を込めてサポートいたします。

4階病棟北 嘉手刈 梨美



委員会活動報告 41!看護部電子カルテ委員会



看護部電子カルテ委員会は、電子カルテのスムーズな運用を目標に立ち上げられました。

委員会は、2カ月に1回開催しています。電子カルテは院内で複数の職員が同時に確認できるため、患者さんの安全を確保し、質の高い治療、ケアを継続するために必要不可欠なものです。

スタッフが業務上効率よく必要な記録や活動ができる様に記録の統一やシステムの追加修正に取り組んでいます。

看護部電子カルテ委員会 事務局長 大城 ミサエ



「自分ファースト」を制御することは至難の業である。一国の大統領の署名一つで世界が混乱する時代が来るとは…。

ハルサー 金城 稲子

ハルサー だより

ユーカリ

レモンユーカリには蚊に対する忌避効果があることを聞いて7年前に園芸店で購入した。ぐんぐん伸びて3年で屋根を5m以上越えたが台風で折れて消滅した。写真は2代目の3年目だが成長の早

さにはびっくりする。先日テレビで「賢くて怖い動植物」の特集をしていた。怖い植物で連想するのは食虫植物くらいだが紹介されていたのはなんとユーカリだった。ユーカリの葉には揮発性の油が大量に含まれていて夏になるとその油が空气中に充満して青く見える(群生する森がブルーマウンテンと言われる所以)。その油が雷や乾燥による火種で大規模な山火事を引き起こす。しかし、ユーカリの芯や根は1000℃の熱にも耐えられる構造なので自らは生き残るのだ。さらにユーカリの果実は熱でいち早く種子がはじけて発芽する。他の植物を全滅させた上に成長の早い種をまき散らして縄張りを広げているのだ。蕾は固く閉じて乾燥や害虫から花を守る。土壌に落ちた葉からも毒成分を放出し周囲の植物の成長を妨げる。恐ろしい生存戦略である。その戦略でオーストラリアの森の8割近くをユーカリが占拠しているという。ユーカリの葉には毒が含まれているがコアラはそれを主食とする。コアラの体内にはユーカリの毒を分解する機能があるが分解には時間とエネルギーが必要のため1日のほとんどを寝て過ごす。そんなコアラにとって山火事は死を意味する。山火事を起こして天敵であるコアラも一掃するのだ。ユーカリは究極の「自分ファースト」植物と言えるが動けない植物なので人間が管理し制御することは可能である。しかし人類の「自国ファースト」「自分ファースト」を制御することは至難の業である。一国の大統領の署名一つで世界が混乱する時代が来るとは…。